様式第11(第11条関係)

交付決定通い、採択通いに記載さ れている事業番号(4桁)を記入し てください。

> **** 事業番号 平成 年 月

一般社団法人低炭素社会創出促進協会 代表理事 吉澤 保幸 殿

完了実績皓書提出日を記載してください。

賃貸住宅の所有者を記載してください。

申請者 住 所

手続代行者を設けない場合は空欄のま まにしてください。

氏名又は名称 代表者の職・氏名

個人事業主の場合、提出済の「印鑑証明書」 と同じ印影のものを押印してください。

印

手続代行者が法人の場合は、代表権を持 つ方の役職及び氏名を記載してください。

氏名又は名称 代表者の職・氏名

所

平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

(賃貸住宅における省 CO2 促進モデル事業)

代表者印を押印してください。

完了実績報告書

手続代行者 住

日付け 低炭社協事第 号で交付決定の通知を受けた一 平成 年 月 酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(賃貸住宅における省 002 促進モデル事業)を完了 (中止・廃止) しましたので、平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(賃 貸住宅における省 (02 促進モデル事業) 交付規程第11条第1項の規定に基づき下記のと おり報告します。

記

「交付決定額」は交付決定通知に記 載されている「補助金の額」を記入 してください。

補助金の交付決定額及び交付決定年月日 円(平成 金 (うち消費税及び地方消費税相当額

日付け低炭社協事第 年 月

円)

号)

2 補助事業の実施状況 別紙1 実施報告書のとおり

補助金の経費収支実績 別紙2 経費所要額精算調書のとおり 消費税込みで交付決定された場合、「補助金の額」に 「8/108」を掛けて算出した金額を記載してください (小数点以下は切り捨て)。

消費税をの金額を「補助金の額」として交付決定を受け た場合は「0円」と記載してください。

補助事業の実施期間

3

平成 平成 日

年 月

補助対象設備の工事に関する契約または覚書を、賃 貸住宅所有者と建築業者等との間で締結した日付を記 入してください。交付決定の日付以後である必要があ ります。

補助対象設備に関する工事が完了する日、または、 工事費用の支払日のうち、いずれか遅い方の日付を 記入してください。

平成29年1月31日以前であることが必要です。

- (1) 完成図書(各種手続等に係る書面の写しを含む。)
- (2) 写真(工程等が分かるもの)
- (3) その他参考資料(領収書等含む。)
- 注 規程第3条第3項の規定に基づき共同で交付申請した場合は、代表事業者が報告すること。

記入上の注意事項

別紙1、別添1、別添2、別紙2はExcelファイルとなっています。

緑色のセルに入力をしてください。「*必須」と記載がある箇所は必ず入力してください。 白いセルには計算式が入っている箇所がありますので、**計算式を変更しないようお願いします。**

(編集すると報告内容が正しく入力されない可能性があります。)

また、入力文字数が多く、セル内に収まりきらない場合は、セル数を増減させず、セルの高さを調整してください。

採択通知書に記載されている 4桁の「事業番号」を記入 してください。

【別紙1】

賃貸住宅における省CO2促進モデル事業実施報告書

低炭素太郎 メゾン低炭素

事業名			2121 - · · / - A	02促進モデル事業	「事業番号」「事業者名」 「建物名」が表示されてい
		事業者名 *必須	低炭素太郎		
	① 代	住所 *必須	太人の方は代表者	名を、個人の方は個人名を記入してくた	ささい。
	表	所属・役職		氏名 *必須	
ア	者	電話番号		E-mail	@
· 車		FAX番号		アト゛レス	w w
事 業 者	②窓口担当者 を記入 では場合は①と同 でい場合は①と同 でい場合は①と同	住所 *必須 ・ 所属・役職		‡類の受け取り、電話・メールによる連絡 D情報を記入してください。	S窓口となる申請
	報合ヨの日 をは者由担	電話番号 *必須	窓口担当者を	と設けない場合は①代表者の情報を転	記してください。
	記①を請当	FAX番号		(無い場合は@を記入)	w ·
	ハこ吸で者 同け	資格※		登録番号	
		会社名 ★必須 ┏			
(実. 務手	★手続代行者を	住所 ★必須	協会との連絡の窓口となる 続代行者の実務担当者の を記入してください。	情報	
担続 当代	合代	所属・役職	EB/OC1/200	氏名 ★必須	
者行	は者	電話番号 ★必須		E-mail ★必須	@
者	必 ^を 須	FAX番号 資格※		アト・レス 登録番号	
	1	会社名		立 政	
		住所	 		
		上//	•		
ウ	1	所属・役職		氏名	
		電話番号		E-mail	^
共 同		FAX番号		アト・レス	@
車		会社名			
事 業 者		住所	〒 -		
者	(2)				
	4	所属・役職		氏名	
		電話番号		E-mail	@
		FAX番号		アト・レス	Ç .
記入くださ 場合にごえ	・ 古者の直通電話 さい。また、実	番号及び定休日を 務担当者がご不在の 方(副担当者様等)	直通電話番号: 定休日: 副担当者氏名:	にの他に、追加情報を記載してください。	

※ 建築物エネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)の知識等を有することを示す資格を持つ場合は記載すること。

注)事業者、共同事業者が個人事業主の場合も、住所、氏名、電話番号、E-mailアドレスの記入を必須とします。 Verl. 0 2016/8/30

事業番号 低炭素太郎 メゾン低炭素

賃貸住宅における省C02促進モデル事業実施報告書

賃貸住宅に関する事 補助事業を実施する賃貸住宅の詳細を記入します。 補助対象外の住戸(オーナー居住 申請する賃貸 複数の申請がある場合は、どの案件の申請書か 住戸等)を含めた建物の総住戸数 住戸の所在地 わかるように名称を区別してください。 を記入します。 *必須 メゾン低炭素 建築物の名称 *必 建築物の 総住戸数 地上 階 建築物の階数 *必 戸 m^2 排下 延べ 面積 建築物の構造 木造 鉄骨造 □ 鉄筋コンクリート造 (該当する構造 地下階が無い場合は、空欄のままにしてください。 に☑する) *必須 省エネルギー基準 の地域区分 *必須 建築区分 年間日射地域区分 (新築・改築) *必須 申請の範囲 *必須 * 申請対象住戸を住戸タイプ毎に記載。 3項目それぞれ、 住戸タイプとは、補助対象設備・住戸の外皮性能・一次エネルギー消費量・BEIが同 プルダウンより選択します。 生) 住戸タイプの数が50を超す場合は、本ファイルの行数を増やさず、協会までこ 住戸番号等 住戸タイプ 101 103 102 3 104 201 202 203 5 8 9 10 ここに入力した住戸タイプ数は、「別添1」、「別添2」、「別紙2」に 11 12 記入した住戸タイプ数と一致しているか確認してください。 住戸タイプが1種類のみの場合も記入してください。 14 15 16 17 18 19 21 23 24 25 26 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 39 40 41 42 43 44 別紙1(その3)より 上記の申請住戸タイプの数「全Oタイプ、O 46 補助率1/2、1/3各々の住戸数 戸」を入力してください。 の合計を記入します。 48 49 50 ※オーナー居住住疗 補助対象外のため、記載しないこと ②補助率1/3の 戸/ 戸/ 申請住戸数 申請住戸数

		現状値※1		設計値 ※	.2		基準値 ※2	2		判定		
	:戸数 (戸)	BEI	外皮平均 熱貫流率 (UA) W/(㎡·K) *必須	冷房期の 外皮平均 日射熱取得率 (ηA) *必須	一次エネルギー 消費・年 (その他の一 次エネエギー 消費量を除 く) *必須	外皮平均 熱貫流率 (UA) W/(㎡・K)	冷房期の 外皮平均 日射熱取得率 (ηA)	一次エネルギー 消費量 MJ/戸・年 (その他の一 次エネルギー 消費量を除 く) * 必須	外皮 (UA) 及び日射熱 所得率 (ηA) ※3	BEI *必須	補助率 1/2 又は 1/3	BEI 取得÷ (★? 力) *必
,			- /	egreen		#N/A	#N/A				DATOR	_ \
						#N/A	#N/A			プルダウ	ンより選択し	てくださ
築の場合の	りみ記え	入します。	┛ 外皮	性能計算	書から転記	#N/A	#N/A		<u></u>	1	PALOE	
添1の「2'言			しまっ	す。		#N/A #N/A	#N/A #N/A	H			FALSE FALSE	
BEI(R0)を	記入くが	ださい。	H			#N/A	#N/A		「1計算結		FALSE	
						#N/A	#N/A		ルギー消		FALSE	
新築の場合	合は記	入しない				#N/A	#N/A	[値①を記	入ください	١,	FALSE	
ください。		-				#N/A	#N/A	<u> </u>			FALSE	
						#N/A #N/A	#N/A #N/A			4	FALSE FALSE	
12			_			#N/A	#N/A		<u> </u>		FALSE	
13						#N/A	#N/A				FALSE	
14						#N/A	#N/A				FALSE	
15 16					•	#N/A	#N/A		_/	L	FALSE	
18 19 20 21 22 23 24 25		合計値を	を記入して	ください。 発電の自家	bプログラムの 消費量分を ベルギー消費	算入して、	BEIがO. 8.	以下になる	場合、「2]	計算結果		
19 20 21 22 23 24 25 26 27		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8:	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	いた。	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 (量(MJ単 算入して、 -消費量(M	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: MJ単位)とE	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	!」の「全 iは、「太 ます。	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8:	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	いた。	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 32		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: MJ単位)とE #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	LJの「全 rは、「太 ます。 FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 23 24 25 26 27 28 29 30 30 31 32 33 3		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小J単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	LJの「全 けは、「太 ます。 FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 算入して、 -消費量(MJ単 第入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 机)単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	は、「太 ます。 FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小J単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小)単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	は、「太 ます。 FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8. 小単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 39		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小)単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE	
19 20 21 22 23 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 37 38 39 40		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小)単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 37 38 39 40		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小)単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小J単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE	
19		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(M #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小単位)とB #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE	
19		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 計算量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE FALSE	
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46		- 次エネ 合計値を ・新築で 体として	を記入して で太陽光系 この評価新 で太陽光系	ください。 発電の自家 結果」のエネ 発電の自家	消費量分を ペルギー消費 消費量分を	算入して、 学量(MJ単 算入して、 -消費量(N #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	BEIがO. 8. 位)とBEI(R BEIがO. 8: 小単位)とE #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A #N/A	以下になる?)の値をここを超える場	場合、「2i こに転記 合及び改	計算結果 :します。 楽の場合	FALSE	

低炭素太郎 メゾン低炭素 賃貸住宅における省CO2促進モデル事業実施報告書 ②住戸タイプ毎の補助対象設備導入の有無 『補助対象』設備の導入がある項目に1を記入する。補助対象外の導入設備については記入不要。 『補助対象』設備が補助要件を満たしていることを、住戸タイプ毎に個票(別添2)を記載して示すこと。 なお、設備毎の補助要件は、公募要領 別添(補助対象経費の範囲)を参照のこと 給湯 照明 太陽光 その他 換気 大陽埶 コージェネ 住戸タイプ 開口部 (空調) 蓄電池 設備 設備 利用 レーション の設備 設備 発電 設備 給湯器を導入する場合のみ、こちら 手元止水・小流量吐水機能付き水 に「1」を入力してください。 栓、高断熱浴槽等を導入する場合 (手元止水・小流量吐水機能付き水栓、 6 高断熱浴槽等を導入する場合は、こちら は、こちらに「1」を入力してください。 ではなく右欄の「その他の設備」に入力し 8 てください。) 9 10 11 12 13 14 15 16

該当箇所に"1(半角)"を入力します。 「別添2」に入力した「補助対象設備」にのみ「1」を入力してください。 「住戸タイプ」数は、「別添1」、「別添2」、「別紙2」に記入した住戸タイプ数と一致し ているか確認してください。

17 18

19 20

21

22

23

24 25 26 27 28 20 30 31 32 33 34 35 36 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 ※住戸タイプ毎の設備仕様は個票(別添2)に別途記載する。 賃貸住宅における省CO2促進モデル事業実施報告書

完成写真等 (賃貸住宅の外観 が分かるもの)	*別紙として添付しても可。
	※こちらには「別添のとおり」と記入し、 写真台帳の巻頭に賃貸住宅の外観が分かる写真を添付してください。 なお、当報告書提出の時点で、賃貸住宅の建築が完了していない場合は、 建築途中の写真で結構です。

事業番号	0	
低炭素太郎		
メゾン低炭素		

賃貸住宅における省C02促進モデル事業実施報告書

3. エネルギー消費性能の表示と、広く一般に周知を図る取組みについて	
*建築物エネルギー消費 事業完了後を含めた計画を記入ください。 広く消費者(借主) * 必ず1つ以上にチェックが入るようにしてくださ * 必須	賃貸住宅の環境性能を
□ 当該賃貸住宅の環境性能を、広く消費者(借主)に対し効果的にPR(入居者募集)を行う。 □ 入居見込者に対して環境性能を説明する。 □ 住棟や住戸の入り口に、居住者(入居者)以外の者にわかるよう表示する。 □ その他()
※該当する項目にチェック☑を付けること。(複数選択可)	

4. 補助対象経費等の額

/ T / JIII]	助対象経費			④一戸	⑤補助率	⑥一戸	⑦一戸	⑧住戸数	9住戸タイプ別	⑩住戸タイプ別
	一戸当	当りの補助対	象経費	当たりの	③補助学 (1/2	当たりの	当たりの	(戸)	制性アダイノ別補助対象経費	補助金所要額
	 工事費 	○ 丁 本 夢	○事物曲	補助対象	(1/2 又は	補助対象	上限額	V /	支出予定額	(⑥と⑦の小さい額
	①工事質 のうち	②工事費 のうち	③事務費 (円/戸)	経費支出	1/3)	経費支出	(60万円		4×8	×8
戸タイプ		労務費	(ロ/)	予定額		予定額×	又は		(円)	(円)
_/ / · I /	(円/戸)	(円/戸)	*必須	1)+2)+3)		補助率	30万円)			
	(13/)	(11//)	4 2000	- 寄付金		4×5	(円/戸)			
	. 37.000	1 34 600		(円/戸)		(円/戸)				
	*必須	*必須				*				
1		+		0	FALSE	0	0	0	0	
1	A	+		0				0	0	
2	 	+			FALSE	0	0			
3	<u> </u>	<u> </u>			FALSE	0	0	0	0	
4					FALSE	0	0	0	0	
5								0	0	
6								0	0	
7	\			□ 一戸当た	りの補助対	象経費を記入	願います。	0	0	
8							ſ	0	0	
9				<u> </u>				0	0	
10		1		0	FALSE	0	0	0	0	
11	 	1		0	FALSE	0	0	0	0	
12	 	†		0	FALSE	0	0	0	0	
13				0	FALSE	0	0	0	0	
	H	ode dett Alm ade e	H						0	
14		資報告書に		0	FALSE	0	0	0		
15	∦ は、一戸	当たりの神	前助対象 📗	0	FALSE	0	0	0	0	
16	経費のロ	対訳は記入	不要で	0	FALSE	0	0	0	0	
17		TH CLOCKED C	''^`	0	FALSE	0	0	0	0	
18	す。			0	FALSE	0		-	^	
19	 	TV		0	FALSE	0				
20				0	FALSE	0		緑色の十	セルのみ入力してくが	ささい.
21				0	FALSE	0		40% C 02 (
22				0	FALSE	0		白いセル	は自動的に計算され	れます。
23		 		0	FALSE	0				
24		 		0	FALSE	0				
25		+		0	FALSE	0	0	0	0	
26		+ \		0	FALSE	0	0	0	0	
		+	-	0	FALSE	0	0	0	0	
27		+	-			_		-		
28		+	1	0	FALSE	0	0	0	0	
29	<u> </u>	+		0	FALSE	0	0	0	0	
30		+		0	FALSE	0	0	0	0	
31		\perp		0	FALSE	0	0	0	0	
32		<u> </u>		0	FALSE	0	0	0	0	
33		$T = \overline{1}$		0	FALSE	0	0	0	0	
34		1	1	0	FALSE	0	0	0	0	
35		1	Λ	0	FALSE	0	0	0	0	
36		1	1\	0	FALSE	0	0	0	0	
37		†	1	0	FALSE	0	0	0	0	
38		+	\	0	FALSE	-				
39		+	 \	0	FALSE	── 「別紙:	2-1」経費は	引訳(総括3	長)の(2)、(3)の金額	質と同じになり ├
		+	 \ 				242261	- 10 4 4 days 3 let 3		
40		+	 \ 	0	FALSE	 ます 。				_
41	<u> </u>	 	— \	0	FALSE	─ │ ╒ा॰-∞	たい担心に	+_==#4	りの補助対象経費	たま 市 一次 33
42			 \ 	0	FALSE			s r=1	ンツ州外外界社員	こ 対及し作記
43		↓	\ \	0	FALSE	ください	١,			
		<u> </u>	\	0	FALSE			사 스 n+ 1 · '	I DETAR OF THE	, -: '
44				0	FALSE	(交付	中請 交付	次正時よ!	Jも、BEIが0.9を跨し	、で収書される
44 45			\	0	FALSE	退合!	その限り	でありませ	(مرم	
45					FALSE	700 🗀 10	- CUPACY	- 60 / 5- E		
45 46			1	0					 /	
45 46 47						Λ	Ω	Λ	/	
45 46 47 48				0	FALSE	0	0	0	—/	$\langle \ \ \ $
45 46 47 48 49				0	FALSE FALSE	0	0	0		
45 46 47 48				0	FALSE					

事業番号
低炭素太郎
メゾン低炭素

#DIV/0!

(小数点第二位まで、三位以下切上げ)

賃貸住宅における省C02促進モデル事業実施報告書

5. 事業の効果

このシートは、全て自動的に計算されます。

(1) エネルギー消費削減量等 *全申請住戸の合計について記載するこ

B E I 15÷14

①基準一次エネルギー消費量 M.J/年 (*別添1⑤に記載した基準一次エネルギー消費量の累計値) (2)設計一次エネルギー消費量 M.J/年 (*別添1億又は⑰に記載した設計一次エネルギー消費量の累計値) ③年間一次エネルギー消費削減量 ①-② M.J/年 #DIV/0! % 年間一次エネルギー消費削減率 ③÷⑪×100 (小数点第一位まで、二位以下切捨て) GJ/年 ⑭⑪基準一次エネルギー消費量をGJ/年に換算 ⑪÷1000 (小数点第一位まで、二位以下切上げ) GJ/年 ⑤②設計一次エネルギー消費量をGJ/年に換算 ⑫÷1000 (小数点第一位まで、二位以下切上げ)

(2) CO2排出削減量及び削減コストに関する内容

①C02排出削減量

*一次エネルギー消費量あたりの排出係数を0.055kg-C02/MJとみなし、C02排出削減量(C02排出削減量=上記年間一次エネルギー消費削減量(MJ/年)×0.055kg-C02/MJ)を記載すること(小数点第二位まで、三位を四捨五入)。

C02排出削減量 t-C02/年

②C02削減コスト

*C02 削減量1トンを削減するために必要なイニシャルコスト (円/t-C02) を算出し記載すること (小数点第一位を四捨五入)。 イニシャルコスト= 補助対象経費支出予定額合計(円) ÷ (C02 排出削減量(t-C02/年)×6(年))

ここで、補助対象経費支出予定額合計は、別紙2-1 の(2)補助対象経費支出予定額合計。複数年度事業の場合は複数年度全体の補助対象経費支出予定額合計。 (別紙1の「4.補助対象経費等の額」における⑨住戸タイブ別補助対象経費支出予定額の合計額と同額)

イニシャルコスト	#DIV/0! 円/t-CO2
----------	-----------------

事業番号
低炭素太郎
メゾン低炭素

賃貸住宅における省CO2促進モデル事業実施報告書

6. 設備の保守計画

(1) エネルギー使用量等の把握の方法について *必須 *エネルギー計測や管理の内容についても記載すること。事業完了後3年間のうち、入居のある住戸の少なくとも1 ガス等のエネルギー使用量を可能な限り報告いただきます。	年間分の電力、
□ スマートメーター等を設置し、各住戸の電気、ガス等の使用量を計測する。□ 入居者にアンケート等を行い、電気、ガス等の使用量を把握する。□ その他 ()
※いずれかにチェック☑を付けること。(複数選択可)(2)設備の保守計画 *必須	
*導入する設備の保守計画を記入する。(定期保守、入居者入替時保守等)	
補助対象設備の保守計画を記入してください。	

注)記入欄が少ない場合は、セルの高さを引き伸ばして使用する。

住戸タイプの数がわか るよう記入願います。 例:6タイプある場合 別添1-1(1/6) 別添1-2(2/6)

別添1 は住戸タイプ毎に作成しますので、Excelデータのシートを増やし、作成してください。 住戸タイプ毎に、Webプログラムの出力結果を参照して外皮性能、一次エネルギー消費量を

記入願います。 また、住戸タイプ毎に、外皮性能、一次エネルギー消費量を、【別紙1】「2. 賃貸住戸に関する事項」

「①外皮性能及び一次エネルキー消費量」に転記願います。

別添1-1

申請賃貸住宅の一次エネルギー消費量/削減率の算出(個票) (webプログラムに入力・出力した値を記入すること)

※別添1は、住戸タイプ分だけ複製して使用すること。 (申請書のエクセルブック内でシートを複製)

【別紙1実施計画書】、【別紙2経費内訳書】、【別添2】と同じ住戸タイプを記載してください。 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法によ (1)住戸タイプ 主たる居室 その他の居室 非居室 合計 (2)床面積 0.00 m m (3)省エネ地域区分 地域 (4)年間日射地域区分 「住宅・住戸の省エネルギー性能判定プログラム (Ver. 1. 15.3)」 を使用する場合 外皮熱損失重(q値) 份房期日射熱 (mH1间) W/K (W/m^2) (5)住戸の外皮性能は、使用したパー 外皮の平 算定値 ジョンで記載箇所が異なります。 均熱貫流 $W/(m^2K)$ 埶取 率(UA) B. 「エネルギー消費性能計算プログラム (住宅版) (Ver. 2.0) | を使用する場合 (5)住戸の外皮性能 外皮総面積 冷房期日射熱取得率(η AC) 暖房期日射熱取得率(nAH) 外皮の平 算 Webプログラム出力結果の一次エネルギー消費量を 均熱貫流 間違いなく転記してください。 率(UA) (6)住戸の一次エネ 基準-次エラ 次エネルギー消費量 ルギー消費量 暖房設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 冷房設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 換気設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 給湯設備 MJ/(戸・年) 照明設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 0 MJ/(戸・年 0 MJ/(戸・年) 合計 (1) MJ/(戸・年) (7)太陽光発電等による発電量 MJ/(戸・年) 評価量 (8) コージェネレーションシス

この基準一次エネルキー消費量の合計値は【別紙1】に転 記します。【別紙1】の吹き出し(説明)を参照ください。

太陽光発電を算入している場合Webプログラム出力結果から「評価 量」(総発電量ではない)を正(プラス)値でここに記入します。

エネルギー削減量、 エネルギ 新築の太陽光発電を算入している場合で、ここのBEI(R)が 0.8以下の場合のみこのエネルギー消費量(MJ単位)と

基準エネル	/ギー消費量	BEI(R)の値を【別紙1	】に転記します。	:①÷1000 (注1
		A (基本		:1-2+3'
省エネ量		B(太陽光発電	0 MJ/(戸・年)⑥	:3-3'
		小計	0 MJ/(戸・年)⑦	:5+6
_	全体としての	エーイー消費量	0 MJ/(戸・年 ⑧	:1-7
評価結果がエネルギ	評価結果	エネルギー消費量	0.0 GJ/(戸・年) ⑨	:(①一⑦)÷1000 (注1
世費エ 番号	11 川州八	BEI (R)	#DIV/0! ⑩	:⑨÷④ (注2
結集ル	太陽光発電を除く	エネルギー消費量	0 MJ/(戸・年 🗓	:1-5
果のギ	評価結果	エネルギー消費量	0.0 GJ/(戸・年) ⑫	:(①-⑤)÷1000 (注1
	計画加水	REI (Ro)	#DIV/0! (3)	:迎÷④ (注2

新築の太陽光発電を算入している場合で、全体としての評価結果のBEI(R)がO. 8を超える場合にはこちらのエネルギー消費量(MJ単位)とBEI(RO)の値を【別紙1】に転記します。 改築の場合もこのエネルギー消費量(MJ単位)とBEI(RO)の値を【別紙1】に転記します。

3. ヨ該住尸タイノの合計	
当該タイプの戸数	戸
当該タイプの基準エネルギー消費量の合計	0 MJ/(戸·年) ⑮ :①×⑭
果の 次 のの 次 の の 次	0 MJ/(戸・年) ⑮ :(①一⑦)×⑭
の評消エー (全体としての評価結果) エネルギー消費量 (太陽光発電を除く評価結果)	0 MJ/(戸・年) ⑰ :(①−⑤)×⑭

戸数以外は自動計算します。

新築の場合、以下は記入不要です。

1'. 改築前の省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果

※改築の場合は以下により、改築前のBEIを算出すること。 (1)住戸タイプ名称 その他の居室 主たる居室 非居室 合計 (2)床面積 0.00 m² m² m² (3)省エネ地域区分 (4)年間日射地域区分 地域 区分 「住宅・住戸の省エネルギ 外皮熱損失量(q値) 一性能判定プログラム (Ver. 1. 15. 3) 」を使用する場合 冷房期日射熱取得量(mc値) | 暖房期日射熱取得量(mH値) $W/(W/m^2)$ $W/(W/m^2)$ W/K 外皮の平 算定値 算定値 冷房期の平均日射 均熱貫流 $W/(m^2K)$ 熱取得率(ηA) 基準値 率(UA) 基準<u>値</u> (5)住戸の外皮性能 B.「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) (Ver. 2.0) 」を使用する場合 外皮総面積 冷房期日射熱取得率(η AC) 暖房期日射熱取得率(ηAH) 外皮の平 算定値 算定値 冷房期の平均日射 ---- W/(m^2 K) 均熱貫流 熱取得率(ηA) 率(UA) 基準値 基準値 (6)住戸の一次エネ 基準一次エネルギー消費量 設計一次エネルギー消費量 ルギー消費量 暖房設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 冷房設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 換気設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 給湯設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 照明設備 MJ/(戸・年) MJ/(戸・年) 0 MJ/(戸・年) 0 MJ/(戸・年

2'. 改築前エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果

(8) コージェネレーションシステムによる発電量

基準エネル	レギー消費量	17: (1770% T -> B1 31 WH215	0.0	GJ/(戸・年)	④' :①'÷1000 (注1	
		A (基本仕様)	0	MJ/(戸・年)	5' :(1)'-(2)'+(3)"	
省エネ量		B (太陽光発電)	0	MJ/(戸・年)	6':3'-3''	
		小計	0	MJ/(戸・年)	10 10	
_	全体としての	エネルギー消費量	0	MJ/(戸・年)	8':0'-7'	
評消次	評価結果	エネルギー消費量	0.0	GJ/(戸・年)	⑨' :(①'-⑦')÷1000) (注1
価 景 ユ	пшмих	BEI (R)	#DIV/0!		⑩' : ⑨'÷④'(注2	
評価結果	太陽光発電を除く	エネルギー消費量	0	MJ/(戸・年)	①' :①'-⑤'	
果のギ	評価結果	エネルギー消費量	0.0	GJ/(戸・年)	②' : (①'-⑤')÷1000	(注1
		BEI (Ro)	#DIV/0!		⑬':⑫'÷④'(注2	
BEIの向上	-率(※10%以上向上	.していること)	#DIV/O!	%	:1-(13÷13')	

評価量

MJ/(戸・年)

MJ/(戸・年)

(3)'

※根拠書類としてwebプログラムの出力を添付すること (当該住戸タイプに属する全住戸分) 注1 小数点第一位まで、二位以下切上げ 注2 小数点第二位まで、三位以下切上げ

評価量又は削減量

(7)太陽光発電等による発電量

3'. 改築前の当該住戸タイプの合計

当該タイプの戸数	戸 ⑭'
当該タイプの基準エネルギー消費量の合計	0 MJ/(戸・年) ⑮' :①'×⑭'
果等ギー の 次 の 次 (全体としての評価結果)	0 MJ/(戸・年) (・ : (①'-⑦')×⑭'
の評消エ 合価費ネ 計結量ル (太陽光発電を除く評価結果)	0 MJ/(戸・年) ⑰' :(①'-⑤')×⑭'

タイプ数がわかるよう 記入願います 例:6タイプある場合 別添2-1 (1/6) 別添2-2 (2/6) ・別添2 は住戸タイプ毎に作成しますので、Excelデータのシートを増やし、作成してください。
・補助対象経費として申請する設備について記入してください。また【別紙1実施計画書】、【別紙2経費内訳書】、【別派1】に記載している、補助対象設備と相違がないようご確認ください。

・補助対象設備の型番が交付申請時から変更となった場合は、変更後の設備の仕様の根拠資料(カタログのコピー等)を添付してください。 添付する資料は、該当箇所が容易に検索できるように、ラインマーカー等で目印を付けてください。

別添2-1 (/)

申請賃貸住宅の開口部・導入設備の仕様(個票)

※別添2は、住戸タイプ分だけ複製して使用すること。 (申請書の

【別紙1実施計画書】、【別紙2経費内訳書】、 【別添1】と同じ住戸タイプを記載してください。

住戸タイプ 1

オリジナル製品のためオープンなカタログや仕様書が存在しない場合、メーカー名には「オリジナル」と 記載のうえ、自社型番を記入のこと。ただし、その機能・性能がメーカーのカタログ掲載品と同じ場合は、 そのメーカー名と相当製品の型番をカッコ書きで併記のこと。

1	1	賏	口並	D	什様
		1-77-1		10/1/	\P\1\7

開口部番 号・記号	メーカー名	型番 (シリーズ名)	建具の仕様	ガラスの仕様	熱貫流率 (W/㎡K)	日射熱 取得率
		開口部番号・記※補助対象経費に	号毎に型番、仕様を 計上する場合のみ記入	記載してください。 願います。		

2. 賃貸住宅の設備仕様

①空調設備

I-1. ルームエアコン

1 -1. /V					
設置 場所	メーカー名	型番	定格冷房 能力(kW)	定格冷房 消費電力(W)	エネルギー消費効率の区分。又は省 エネ基準達成率
主たる					
居室					
冶玉					
その他					
居室					
冶玉					

I-2. ヒートポンプ式セントラル空調システム

メーカー名	型番	機能 区分	定格能力 (kW)	定格消費電力 (W)	COP
		暖房			
		冷房			

Ⅱ. 温水パネルラジエーター・温水式床暖房等 (熱源機のみを記入すること)

種類	メーカー名	型番	定格暖房 能力 (kW)	定格暖房 消費 電力(W)	暖房部 熱効率 (%)	断熱被 覆の有 無	上面 放熱 率

- 注 熱源設備が電気ヒートポンプ式の場合は、定格暖房能力および定格暖房消費電力を記入すること
- 注 熱源設備が潜熱回収型の場合は、暖房部熱効率を記入すること
- 注 パネルラジエーター・温水床暖房以外の設備は、種類/メーカー名/型番のみ記入すること

②換気設備(24時間換気に使用する換気設備のみ記入すること)

②换风取佣(24时间换风に 使)	用りる換刈取棚のみ	記入りること)					
種類	メーカー名	型番	台数	顕熱交換			比消費電力W/(m³
				効率(%)	(W)	(m^3/h)	/h)

注 ダクト式換気設備の場合は、顕熱交換率を記入すること(消費電力、換気量、比消費電力は記入不要) 注 壁掛けファンの場合は、消費電力、換気量、比消費電力を記入すること(顕熱交換率は記入不要)

		番号があ	るものは、セ	ット型番を記入	すること)					
パネルラミ 又は床暖原 場合は☑を	房と併用の		種類		メー	メーカー名			型番	
L										
④照明設	/曲	•								
設置場所		カー名	型番		マーク	「有」又は	に無」を	選択してく	ださい。	
			1							
主たる 居室										
						$\overline{}$				
その他 居室			載いた	備の型番毎に記 型番を複数導入すだいて結構です) 対象経費に計上す	る場合は、まと	めて記				
非居室										
y r/口 土										
O 7 11277 -	 発電シスラ 光発電シス									
	発電アレイ		メーカー	·名	型番				モジュール 奥効率(%	
							۵,	7天劝友:	英劝节(70)
Π パワ	ーコンディ	バショナ	(新設する大	陽光パネルの公	称最大出力が	10kWD/	ーである	堪合け記	ス ナストレ	
<u> </u>	* / 1			100000 100000						
	ーコンディ メーカー名	7 	型番		定格出力(kW)		台数		出力の合計	
	メーカー名	7	型番							
		7	型番							
Ⅲ. 蓄電				型番	定格出力(kW)	電容量		定格 太陽;	出力の合計	-(kW) テムと
Ⅲ. 蓄電	池				定格出力(kW)			定格 太陽;	出力の合計	-(kW) テムと
Ⅲ. 蓄電	池 メーカー名	ź			定格出力(kW)			定格 太陽;	出力の合計	-(kW) テムと
Ⅲ. 蓄電	池	í-			定格出力(kW)			定格 太陽分 一体 JISA41 規程	出力の合計	テムと こるか M4113に 能と
Ⅲ. 蓄電	池 メーカー名 利用シスラ	í-		型番	定格出力(kW)	電容量		定格 太陽分 一体 JISA41 規程	由力の合計 仕発電シス・ 的に使われ 12又はJIS/ ¹² 又はJIS/ ¹² される性i	テムと こるか M4113に 能と
III. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ	池 メーカーネ 利用シスラ メーカーネ ェネレーシ	イ テム イ ノョンシス	3	型番	定格出力(kW)	電容量槽の有無	台数	定格 太陽分 一体 JISA41 規利 同等以	出力の合計 化発電シス・ 的に使われ 12又はJIS/ 最される性能 人上の性能の	テムと しるか A4113に 能と の有無
III. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカーネ 利用シスラ メーカーネ ェネレーシ	イ イ イ イョンシス 大料電池・	デム	型番	定格田力(kW) 蓄 蓄熱 定格運車の発電タ	槽の有無	台数 定格 後 径	定格 太陽分 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	出力の合計	テムと 、るか M4113に 能と の有無 負荷 時の
III. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカー名 利用シスラ メーカー名 ェネレーシ 高分子形然	イ イ イ イョンシス 大料電池・	テム固体酸化形燃	型番	E格田力(kW) 蓄蓄 蓄熱	槽の有無	<u>台数</u>	定格 太陽分 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	出力の合計	テムと 、るか M4113に 能と の有無 負荷 時の
III. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカー名 利用シスラ メーカー名 ェネレーシ 高分子形然	イョンシス・大料電池・メーン	テム国体酸化形燃	型番	定格田力(kW) 蓄蓄 を格運転の発電なの発電域の発電域の発電域の発電域の発	電容量槽の有無	定格道の総合(9)	太陽分 太陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽分 人 大陽子 大陽子 大 大陽子 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出力の合計	テムと 、るか M4113に 能と の有無 負荷 時の
III. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ I. 固体	池 メーカー名 利用シスラ メーカー名 ェネンーシ 高分子形燃	イ イ イ メーンシス 大 料電池・ メーン 注 「発電	テム国体酸化形燃か一名	型番 型番 型番 合効率」は、低位	定格出力(kW) 蓄蓄 蓄熱 定格運転 の発電 の発電 (%)	電容量槽の有無時率	定格道の総合(9)	定格 太陽分 本 人 は は は は に な り い と か し こ と い う い う い う い う い う い う い う い う い う い	田力の合計 在発電シス・ 的に使われ 12又はJIS/ 呈される性は 人上の性能の ※合効。 総合効。	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の の(%)
Ⅲ. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカー名 利用シスラ メーカー名 ェネンーシ 高分子形燃	イ /ョンシス・ 	デム	型番 型番 型番 合効率」は、低位	定格出力(kW) 蓄蓄 蓄熱 定格運転 の発電 の発電 (%)	電容量槽の有無	定格道の総合(9)	定格 太陽分 本 人 は は は は に な り い と か し こ と い う い う い う い う い う い う い う い う い う い	出力の合計	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の の(%)
Ⅲ. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカー名 メーカー名 ェネンレーショ ゴ類 エンジン・	インコンシス・メード メード 注 「発電・コージェ	テム 固体酸化形燃 カー名 電効率」、「総 ネレーション	型番 料電池 型番 合効率」は、低位 型番 合効率」は、低位 型番	定格出力(kW) 蓄蓄 蓄熱 定格運転 の発電 の発電 (%)	電容量 槽の有無 高ける値を 電(%) エネ 準算に	定格 経合(ツ) 記入する	定格 太	田力の合計 化発電シスス 的に使われ 12又はJIS/ 最よの性能 50% 総合効率 利用の総合 (%)	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の (%)
Ⅲ. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池 メーカー名 メーカー名 ェネンレーショ ゴ類 エンジン・	イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	テム 国体酸化形燃 カー名 意効率」、「総 京	型番 料電池 型番 合効率」は、低位 型番 合効率」は、低位 型番	定格田力(kw) 蓄蓄 蓄熱 定格運転の発電 の発電 の(%) で発熱量基準には 発 には記入(手元 経費に計上す	電容量 槽の有無 高ける値を 電(%) エネ 準算に	定格 経合(ツ) 記入する	定格 太	田力の合計 化発電シスス 的に使われ 12又はJIS/ 最よの性能 50% 総合効率 利用の総合 (%)	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の (%)
Ⅲ. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池メーカー名利用シスライタエーカー・シャンカー・名エメーカー・名	イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	テム 国体酸化形燃 カー名 意効率」、「総 京	型番 料電池 型番 合効率」は、低位 型番 合効率」は、低位 型番 合効率がある際 ※補助対象	定格田力(kw) 蓄蓄 蓄熱 定格運転の発電 の発電 の(%) で発熱量基準には 発 には記入(手元 経費に計上す	電容量 槽の有無 高ける値を 電効率 (%) エネ 準算に より はない	定格 経合(ツ) 記入する	定格 太	田力の合計 在発電シスト 12又はJIS/ 最さした。 12又はJIS/ 最大上の性能 「一方の性能」 50% 総合効率 利用の総合 (ださい。	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の (%)
Ⅲ. 蓄電 ⑥太陽熱 ⑦コージ Ⅰ. 固体	池メーカー名利用シスライタエーカー・シャンカー・名エメーカー・名	イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	テム 国体酸化形燃 カー名 意効率」、「総 京	型番 料電池 型番 合効率」は、低位 型番 合効率」は、低位 型番 合効率がある際 ※補助対象	定格田力(kw) 蓄蓄 蓄熱 定格運転の発電 の発電 の(%) で発熱量基準には 発 には記入(手元 経費に計上す	電容量 槽の有無 高ける値を 電効率 (%) エネ 準算に より はない	定格 経合(ツ) 記入する	定格 太	田力の合計 在発電シスト 12又はJIS/ 最さした。 12又はJIS/ 最大上の性能 「一方の性能」 50% 総合効率 利用の総合 (ださい。	テムと たるか A4113に 能と の有無 負時の (%)

このシートには、事業全体の経費内訳を入力してください。 別紙2-2のタイプ毎の合計を記入してください。

【別紙2-1】

事業番号 1234

賃貸住宅における省CO2促進モデル事業に要する経費所要額精算調書 (総括表)

補助対象外約書の金額ます。	を記入し	2-●】0 別補助	イプ毎の【別紙2- D(11)住戸タイプ 対象経費実支 合計を記入しま	2· 1	E戸タイプ毎の -2-●】の(12) プ別補助金所 ì計を記入しま	住戸タ 要額の	交付決定通知に記載 されている「補助金の 額」を記入します。	
1. 経費実	續額 (1)総事業費		(2)補助対象経済	<u> </u>	(3) 補助金	額合計	(4) 補助金交付	
	(契約金名	頁)	実支出額合計 (住戸タイプ別(の合計)	•	(住戸タイフの合計)		決定額	
所要経費	(5) 補助金請 (3)と(4)を比 少ない方の額	求額 較して	(6) 過不足額 (4)-(5)			1,1	17	
		円		Į.				
			住戸タイプ毎0 金対象経費実	D【別組 支出額	[2-2-●]の(1: [を記入します	1)住戸タイプ別 - 。	補助	
	总 経費実支出額	内訳				ali bila I -		
	区分・費目		金額			積算内記	尺	
(記載例 ・タイプ 1	J <i>)</i>		00000	○ 別新	纸 2 - 2 - 1	参照		
・タイプ2			0000	○別	纸 2 一 2 一 2	参照	こちらには 「別紙2-2-● 参照」 のみ記入します。 す料費、労務費、事務 費等の内訳は記載不 要です。	
・タイプ3			0000	○ 別刹	纸 2 - 2 - 3	参照		
,	合 計			円				
(一品、一	購入した主な財産の内訳 (2)補助対象経費実支出額合計と同じ 金額になることを確認願います。 (一品、一組又は一式の価格							
	している場合、 名称	総括委	そでの記載は不要 仕様	·。) 数量	単価	金額	購入時期	
	17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1		工水	奴里	半川	並領	牌/\时 <i>剂</i>	
	2215	は記載	せず、別紙2-2 ·	住戸タ	' イプ毎に記載 T	、 載してください	v _o	

住戸タイプ毎に作成します。住戸タイプ1は「別紙2-2-1」、住戸タイプ2は「別紙2-2-2」であることを確認の上、作成してください。 「別紙1」、「別添1」、「別添2」と、同じ住戸タイプ毎に作成してください。

【別紙2-2-1】

賃貸住宅における省CO2促進モデル事業に要する経費所要額精算調書 (住戸タイプ別<mark>個票</mark>:タイプ1)

※別紙2-2は、住戸タイプ分だけ複製して使用すること。(実績報告書のエクセルブック内でシートを複製)

1. 経費実績額 (1)一戸当たりの (2)一戸当たりの (3)一戸当たりの補助 補助対象経費 寄付金その他の 対象経費実支出額 収入 (1) - (2)交付申請・交付決定時の別紙2-2-●の (9)一戸当たりの補助金所要額を記入 Н 0円 (7)一戸当たりの補助対象 (8) 一戸当たりの基準 (6)補助率 (交付決定時の一戸当 $1/2 \nabla l \pm 1/3$ 経費実支出額×補助率 $(5) \times (6)$ の補助金所要額) 所要経費 (千円未満切り捨て) 円 円 (10)戸数 (9)一戸当たりの (11)住戸タイプ別 (12)住戸タイプ別 補助金額 補助対象経費 補助金額 (7)と(8)を比較して 実支出額 $(9) \times (10)$ 少ない方の額 $(3) \times (10)$ 戸 円 円

2. 一戸当たりの補助対象経費実支出額内訳 経費区分・費目 金額 積算内訳 (記載例) (品名・型番別に記載) この欄に記載出来る費目は、 交付規程 p9の別表第2の経費 区分・費目のみになります。 • 開口部 補助対象設備の型番毎に記入願います。一式計上は不可です。 工事費 本工事費 材料費 ○○○○ 材料名(型番): (単価)×(数量)=金額 ○○○○ 材料名(型番): (単価)×(数量)=金額 労務費 ○○○○ 作業名: (単価) × (人工) =金額 • 空調設備 工事費 本工事費 BELSの評価費が見積書等において全住戸分として算出 されている場合、住戸数で除すことにより、一戸当たりの 材料費 (4個) × (数量) = 金額 費用を算出してください。 労務費 人工) =金額 金額が割りきれず端数が出る場合、必要に応じて一部 の住戸タイプで端数調整してください。 • BELS関連 事務費 委託費 (BELS評価費用) ○○○○ BELS評価 (複数住戸の評価費用合計) ÷ (戸数) = 一戸当たりの金額 消耗品費 (BELS表示費用) ○○○○ BELSプレート (単価) × (数量) =金額 • 値引額 ─○○○○ ←金額の頭にマイナス符号を付与 (値引前の小計) × (全体値引率) (全体に対する値引きがある場合) • 消費税 0000 (税別金額の小計) × (消費税等の率) (消費税を補助対象とする場合) 見積書に全体に対する値引きがある(端数の値引きを含む)場合は、値引前の小計に「全体値引き率」をかけた金額を、マイナス符号を付けて記入してください。計算式も記載。 合 計 円 (3)の金額と同じである 計算式も記載。 ことを確認してください。 購入した主な財産の内部 (型番別に記載。 一組又は一式の価格が50万円以上のものを含む、 補助対象全ての設備。 単価 購入時期 仕様 数量 金額 全ての補助対象設備について記入します。 補助対象設備に関する 工事の完了月を記入願 設備の型番ごとに分けて記入願います。複数の型番をまとめての一 います。 式計上は不可です。 なお、【別紙2-1】への転記は不要です。

注 本内訳に、見積書及び見積書から内訳に記載された金額を説明するための計算書等を添付する。